

平成17年度決算状況

一般会計

町民税、固定資産税など

依存財源(45%)

国や県の基準に基づき、町へ交付されるお金

使いみちが特定されているものが多く、自由に使いません。

その他依存財源 5億4,988万円

皆さんが国へ納めた税金の中から町へ交付されるお金も含まれます。

国庫・県支出金
5億5,128万円

一定のルールに基づき、国や県から交付されるお金
使いみちが決められています。

町債
4億6,800万円

事業を実施する時などに、国や銀行などから借りるお金

地方交付税
10億8,893万円

町の財政事情に応じて、皆さんが国へ納めた税金(所得税、法人税など)の中から交付されるお金

歳入
(収入)
59億4,052万円

町税
25億1,557万円

皆さんの納められた町民税、固定資産税、軽自動車税など
歳入全体の42%を占めています。

繰越金
2億6,586万円

前年度からの繰越金

財産収入
2億2,268万円

町の財産の売却や貸付による収入
平成17年度は旧南事務所の土地売却等により増加しました。

その他自主財源
2億7,832万円

公共施設の使用料や各種証明書発行時の手数料も含まれます。

積立金 2億6,922万円
基金(町の貯蓄)にまわすお金

その他
6,911万円

人件費 12億4,293万円

議員や職員の給与、各種委員の報酬など

物件費
8億3,190万円

消耗品、電話・郵送料、施設の維持管理委託料、リース代などに使われるお金

補助費等
8億9,910万円

羽鳥郡広域連合、教育委員会、各種団体への助成金など

繰出金
9億4,599万円

特別会計に対し、支出されるお金

歳出
(支出)
55億4,568万円

扶助費
5億5,289万円

高齢者、児童、障害者などに対する援助に使われるお金

公債費
3億180万円

国や銀行からの借入金の返済に使われるお金

普通建設事業費
4億3,274万円

笠松みなど公園をはじめとする公園の整備や道路の修繕、改良の工事などにかかるお金

自主財源(55%)

町が自ら基準を定め、徴収・収納できるお金

町が自立し、安定した行政活動を進めるためには、自主財源の増加が望まれます。
前年より0.9パーセント増加しました。

義務的経費(38%)

支出が義務付けられ、簡単に削減することのできないお金

この割合が高いほど、普通建設事業など社会資本の整備に充てるお金が少なくなります。
前年より3.9%減少しました。

過去5年間のおサイフ事情を比べてみよう

(基金(町の貯蓄)の出し入れや繰越金を除いた金額の比較)

黒字額
赤字額

H13年度
▲4億
5,000万円

H14年度
▲4億
3,000万円

H15年度
▲1億円

H16年度
▲9,000万円

4億
3,000万円

H17年度

赤字分は基金(貯蓄)で補っていました

平成17年度末 町のおサイフの中身は？

基金(町の貯蓄)の出し入れや前年度の繰越金を除き、純粋に1年間に入ったお金と出ていったお金の差を計算すると…

4億3,000万円の
黒字になりました